

平成27年11月11日

各 位

会 社 名 片倉コープアグリ株式会社
（コード番号 4031 東証第1部）
代表者名 代表取締役社長 野村 豊
問合せ先 執行役員経理本部長 清水 達也
（TEL. 03 - 5216 - 6611）

経営統合により消滅した被合併法人（旧会社名 コープケミカル株式会社）に係る
決算開示について

平成27年10月1日付の経営統合により消滅した被合併法人（旧会社名 コープケミカル株式会社）に関する平成28年3月期第2四半期決算短信（平成27年4月1日～平成27年9月30日）につき、添付のとおりお知らせいたします。

（添付）

- ・片倉コープアグリ株式会社（旧会社名 コープケミカル株式会社）
平成28年3月期第2四半期決算短信

以 上



平成 28 年 3 月期第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 27 年 11 月 11 日

上場会社名 片倉コープアグリ株式会社(コープケミカル株式会社分) 上場取引所 東
 コード番号 4031 URL <http://www.katakuraco-op.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野村 豊
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務本部長 (氏名) 清水 達也 TEL 03-5216-6611
 四半期報告書提出予定日 — 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 28 年 3 月期第 2 四半期の連結業績(平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28 年 3 月期第 2 四半期	10,044	△1.4	△33	—	△91	—	△87	—
27 年 3 月期第 2 四半期	10,184	△7.2	△54	—	△100	—	17	△76.8

(注)包括利益 28 年 3 月期第 2 四半期 △240 百万円(—%) 27 年 3 月期第 2 四半期 62 百万円(△25.0%)

	1 株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
28 年 3 月期第 2 四半期	△0.99	—
27 年 3 月期第 2 四半期	0.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28 年 3 月期第 2 四半期	25,045	11,103	44.1	123.94
27 年 3 月期	27,719	11,344	40.8	126.63

(参考)自己資本 28 年 3 月期第 2 四半期 11,056 百万円 27 年 3 月期 11,297 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27 年 3 月期	—	—	—	0.00	0.00
28 年 3 月期	—	—	—	—	—
28 年 3 月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成 28 年 3 月期の連結業績予想(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

平成 28 年 3 月期における第 2 四半期累計期間の連結業績につきましては、売上高は肥料需要の減少に伴い当初予想を下回りましたが、営業利益は売上原価の圧縮に努めたことなどにより当初予想より増加いたしました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、事業撤退損および組織再編費用を特別損失に計上したことなどにより当初予想より減少いたしました。

なお、平成 27 年 10 月 1 日付で片倉チッカリン株式会社と合併いたしました。従いまして、当期の連結業績予想につきましては、開示いたしておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	89,250,000株	27年3月期	89,250,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	35,932株	27年3月期	34,247株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	89,215,270株	27年3月期2Q	55,967,544株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想の前提となる仮定および業績予想に関する注記事項につきましては、【添付資料】2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(減価償却費情報)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、中国を始めとするアジア新興国経済の減速により輸出や生産が弱んでいるものの、雇用や所得の着実な改善、底堅い個人消費、良好な企業収益に伴う設備投資の持ち直しが背景に、景気は緩やかな回復基調が続いています。今後、雇用や所得は堅調な推移が見込まれ、引き続き景気は緩やかに回復していくものと予想されますが、中国やその他新興国の景気の下振れ、中東の地政学的リスク等の不安要因があり、景気の先行きは予断を許しません。

肥料業界におきましては、農業従事者の高齢化、後継者不足等の日本農業の構造的な問題や農産物の生産資材コスト低減の動きが一層強まるなど、依然として需要の低迷が続いております。加えて、東日本大震災からの農地復旧の遅れの問題も未だに残っております。

このような状況のもと、主力の肥料事業につきましては、農地面積の減少、少子高齢化、人口減少による肥料需要の縮小、施肥コスト抑制運動の展開、肥料需要減少に伴う国内企業間競争の激化、マーケットのグローバル化に伴う海外肥料メーカーとの競争の激化など取り巻く販売環境は一層厳しさを増しております。

当第2四半期連結累計期間における営業成績につきましては、肥料事業が土壌改良資材など一部販売中止および米価低迷により荷動きが悪化し減収となりました。また、化成品事業は、汎用品が好調に推移し、増収となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は10,044百万円(前年同四半期比1.4%減)となり、営業損失33百万円(前年同四半期は営業損失54百万円)、経常損失は91百万円(前年同四半期は経常損失100百万円)となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益は投資有価証券売却益など特別利益に344百万円を計上しましたが、事業撤退損および組織再編費用など特別損失に337百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は87百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益17百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態の分析

a. 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて13.0%減少し、15,300百万円となりました。増減の主なものは、現金及び預金の減少2,462百万円、商品及び製品の減少302百万円、原材料及び貯蔵品の増加536百万円などで、2,292百万円減少しております。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.8%減少し、9,745百万円となりました。増減の主なものは、投資有価証券の減少315百万円などで、380百万円減少しております。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて9.6%減少し、25,045百万円となりました。

b. 負債、純資産

流動負債は、前連結会計年度末に比べて16.7%減少し、9,526百万円となりました。増減の主なものは、短期借入金の減少1,628百万円、支払手形及び買掛金の減少181百万円などで、1,912百万円減少しております。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて10.5%減少し、4,415百万円となりました。増減の主なものは、長期借入金の減少549百万円などで、520百万円減少しております。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて14.9%減少し、13,941百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて2.1%減少し、11,103百万円となりました。増減の主なものは、その他有価証券評価差額金の減少167百万円、利益剰余金の減少87百万円などで、240百万円減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期における第2四半期累計期間の連結業績につきましては、売上高は肥料需要の減少に伴い当初予想を下回りましたが、営業利益は売上原価の圧縮に努めたことなどにより当初予想より増加いたしました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、事業撤退損および組織再編費用を特別損失に計上したことなどにより当初予想より減少いたしました。

なお、平成27年10月1日付で片倉チッカリン株式会社と合併いたしました。従いまして、当期の連結業績予想につきましては、開示いたしておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。

当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替を行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,767	2,305
受取手形及び売掛金	6,270	6,173
有価証券	3	3
商品及び製品	3,936	3,634
半成工事	2	31
原材料及び貯蔵品	2,060	2,596
繰延税金資産	222	287
その他	330	269
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	17,592	15,300
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,713	1,659
機械装置及び運搬具(純額)	1,528	1,504
土地	4,562	4,562
その他(純額)	145	123
有形固定資産合計	7,949	7,849
無形固定資産	285	266
投資その他の資産		
投資有価証券	1,060	744
繰延税金資産	761	816
その他	70	68
投資その他の資産合計	1,891	1,629
固定資産合計	10,126	9,745
資産合計	27,719	25,045

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,238	3,056
短期借入金	6,707	5,078
未払金	465	386
未払費用	573	582
未払法人税等	39	60
未払消費税等	107	40
賞与引当金	222	216
その他	83	105
流動負債合計	11,439	9,526
固定負債		
長期借入金	2,324	1,774
役員退職慰労引当金	131	109
製品回収等関連損失引当金	40	39
退職給付に係る負債	2,325	2,325
その他	113	165
固定負債合計	4,935	4,415
負債合計	16,374	13,941
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,578	4,578
資本剰余金	2,917	2,917
利益剰余金	3,659	3,571
自己株式	△5	△5
株主資本合計	11,150	11,062
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	325	158
退職給付に係る調整累計額	△178	△164
その他の包括利益累計額合計	147	△5
非支配株主持分	46	47
純資産合計	11,344	11,103
負債純資産合計	27,719	25,045

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	10,184	10,044
売上原価	8,839	8,685
売上総利益	1,345	1,358
販売費及び一般管理費		
運賃	210	200
出荷費	166	156
役員報酬	71	68
給料及び手当	314	317
賞与引当金繰入額	73	74
退職給付費用	60	41
役員退職慰労引当金繰入額	17	20
福利厚生費	89	90
旅費及び交通費	33	37
情報管理費	51	55
賃借料	63	65
減価償却費	3	2
研究開発費	87	74
その他	157	186
販売費及び一般管理費合計	1,400	1,391
営業損失(△)	△54	△33
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	13	8
その他	8	15
営業外収益合計	22	25
営業外費用		
支払利息	62	51
その他	5	30
営業外費用合計	67	82
経常損失(△)	△100	△91

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	67	-
投資有価証券売却益	-	325
受取損害賠償金	27	18
その他	0	-
特別利益合計	95	344
特別損失		
固定資産除却損	6	85
事業撤退損	-	141
組織再編費用	-	110
その他	0	0
特別損失合計	6	337
税金等調整前四半期純損失(△)	△11	△83
法人税、住民税及び事業税	8	51
法人税等調整額	△36	△47
法人税等合計	△28	3
四半期純利益又は四半期純損失(△)	17	△87
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	17	△87

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	17	△87
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	△167
退職給付に係る調整額	40	14
その他の包括利益合計	45	△152
四半期包括利益	62	△240
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	62	△240
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(減価償却費情報)

当第2四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第2四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
減価償却費	318百万円	299百万円

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。